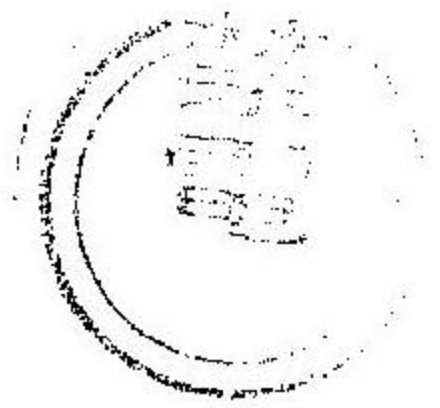


12  
473  
9.2



T

明治廿六年七月訂正  
電信條例  
電信取扱規則

纂輯

遞  
信  
省

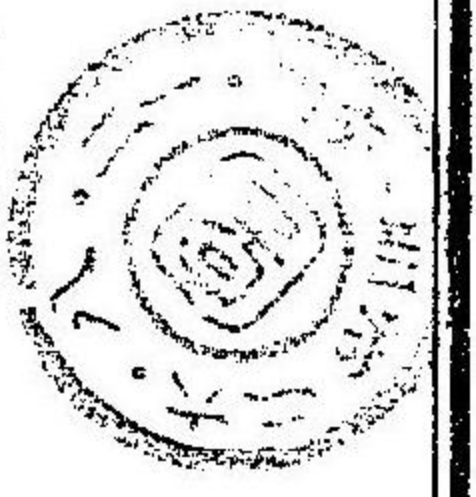
C2  
493  
012

### 要則三章

第一則 電氣通信ノ業務ニ從事スル者ハ其通信ノ  
快速ト正確ヲ努ムヘシ

第二則 電氣通信ノ業務ニ從事スル者ハ嚴ニ其通  
信ノ秘密ヲ保護シ決シテ漏洩セサルコトヲ期ス  
ヘシ

第三則 電氣通信ノ業務ニ從事スル者ハ常ニ此事  
業ハ國家ノ治安ヲ保持シ國家ノ禍害ヲ防衛シ國  
利民福ヲ増進スル所ノ一大機關タルコトヲ忘ル  
ヘカラス



電信取扱規則纂輯例言

- 一 本書ハ明治二十六年七月三十一日現行ノモノヲ纂録シテ閱覽ノ便ニ供スルモノトス
- 一 凡テ改正追加若クハ削除ニ屬スル條項ハ其令達ノ年月番號ヲ其欄外ニ掲ケリ
- 一 自然消滅又ハ變更ニ屬スル條項ニシテ其事由ヲ記スルノ必要アリト認ムルモノモ亦之ヲ欄外ニ掲ケリ
- 一 同一ノ事項ニシテ其改正數次ニ涉ルモノハ一々其沿革ヲ記載セス唯現行ノモノニ付テ事由ヲ掲クルニ止メタリ
- 一 削除スヘキ條項ト雖尙參照ノ爲メ必要ト認ムルモノハ其條文ヲ圍ミ之ヲ存セリ
- 一 將來條文ノ改正等アルトキハ各自須ラク訂正ヲ加ヘ依遵スル所ヲ誤ラサルヲ要ス

遞信省

明治廿六年八月一日

電務局

電信條例

電信條例目次

第一章	電報	一	丁
第二章	電報書法	全	丁
第三章	電報料	二	丁
第四章	電信切手	三	丁
第五章	電報發送	全	丁
第六章	尋問改正	五	丁
第七章	閱覽正寫	全	丁
第八章	電機私設	全	丁
第九章	海外電報	六	丁
第十章	罰則	全	丁

電信條例(明治十八年<sup>五月七日</sup>太政官布告第八號、同年七月一日ヨリ施行)

第一章 電報

第一條 凡電報別テ三種ト爲ス

一 官報

二 局報

三 私報

第二條 官報局報私報各別テ七類ト爲ス

一 通常電報

二 至急電報

三 追尾電報

四 同文電報

五 照校電報

六 受信電報

七 返信料前納電報

第三條 電報ヲ傳送スルノ順序ハ官報ヲ先トシ局報之ニ次キ私報又之ニ次クモノトス

二十年(三月) 告示第三六號  
中電信局長ヲ  
遞信大臣ト改  
稱ス

第四條 遞信大臣ニ於テ法律規則ニ違背シ又ハ治安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル私報ハ其傳送ヲ止ムヘシ

第五條 政府ハ時機ニ依リ線路又ハ地方又ハ語辭ヲ限リ私報ヲ停止スルコトアルヘシ

第二章 電報書法

第六條 凡電報ヲ書載スルニハ普通辭又ハ秘辭隱語ヲ問ハス

和文ハ片假名及數字ヲ用ヒ歐文ハ羅馬字及亞刺比亞數字ヲ用フヘシ

二十年(三月) 告示第三六號  
中電信局長ヲ  
郵便電信局長ト改  
稱ス

第七條 郵便電信局長電信局長ニ於テ私報ニ用フル秘辭隱語ノ解譯又ハ其合符原本ヲ要スルトキハ之ヲ差出スヘシ

第三章 電報料

廿三年(三月) 法律第一六號  
ノ旨趣ニ依リ  
第八條中及登  
載對島ノ五字  
ヲ削ル

第八條 凡電報料ハ國內ヲ通シテ同一ト爲ス但一市内ニ發著スルモノハ此限ニアラス

第九條 電報料及手數料ノ金額ハ別ニ布達ヲ以テ之ヲ定ム

廿一年(二月) 勅令第六號ノ  
旨趣ニ依リ第  
十條中電切手  
手ヲ郵便切手  
ニ改ム以下之  
ニト改ム

第十條 電報料及手數料ハ郵便切手ヲ以テ納ムルモノトス其切手ハ賴信紙ニ貼付スヘシ但返信電報料ノ前納及尋問電報料ノ假納ハ貼付スルノ限ニアラス

第十一條 消滅

廿一年(二月) 勅令第六號ニ  
依リ第十一條  
自然消滅  
二十年(三月) 告示第三六號  
中電信局長ヲ  
遞信大臣ト改  
稱ス

第十二條 電報料及手數料ニ用ヒタル郵便切手ハ郵便電信局電信局ニ於テ消印スヘシ

第十三條 電報料及手數料ハ過納アルモ已ニ郵便切手ニ消印シタル後ハ之ヲ還付セス

未タ傳送セサル電報ヲ返還スルトキ已ニ消印シタルモノ亦

同シ

第十四條 第四條ニ據リ私報ノ傳送ヲ止ムルトキハ其既ニ納メタル料金ヲ還付セス

第十五條 電報取扱ノ過失ニ因テ甚シク遅延シ若クハ到達セサルモノハ其料金ヲ還付ス照校電報ニシテ傳送ノ際誤謬ヲ生シテ其用辨ヲ闕キタルコト判然タルモノ亦同シ

第十六條 料金還付ノ請求ハ發信ノ日附ヨリ六十日以内ニ遞信省ニ申出ヘシ此期限ヲ過クルトキハ一切之ヲ受理セス

第十七條 電報料及手數料ニ不足アルトキハ郵便電信局電信局ニ於テ其電報ヲ傳送スルモ其不足ノ料金ニ倍ヲ發信人ヨリ追納セシムヘシ

第十八條 發信人又ハ受信人ヨリ納ムヘキ料金ヲ七日以内ニ徵收シ難キトキハ發信人ノ納メサルモノハ受信人ヨリ受信

二十年(三月) 告示第三十六號  
依り第三十六號  
條中電信局長  
ヲ逓信省ト改  
書ス  
二十年(三月) 告示第三十七號  
依り第三十七號  
條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

人ノ納メサルモノハ發信人ヨリ徵收スヘシ

第四章

電信切手

第十九條 電信切手ハ日本政府ニ於テ發行セシモノタルヘシ

第二十條 消滅

第二十一條 消滅

第二十二條 消滅

第二十三條 消滅

第二十四條 返信電報料ノ前納及尋問電報料ノ假納ニ充ツル郵便切手ヲ賴信紙ニ貼付シタルモノハ各其効用ヲ失フ

第二十五條 消滅

第二十六條 消滅

第五章 電報發送

第二十七條 電報ノ傳送ハ郵便電信局電信局ニ於テ之ヲ管ス

廿一年(二月) 勅令第六號ノ旨趣ニ依リ第  
四章ノ下電信  
切手ノ四字及  
第十九條乃至  
第二十三條消  
滅但第十九條  
ハ參照ノ爲メ  
存ス

廿一年(二月) 勅令第六號ノ旨趣ニ依リ第  
二四條本文  
ノ通改書ス  
廿一年(二月) 勅令第六號ノ旨趣ニ依リ第  
二五條第二  
十六條消滅

廿一年(三月) 告示第三十六號ニ依リ第二十七



條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

十九年八月  
告示第七八號  
及廿年三月  
告示第三六號  
ニ依リ第三十  
八條中局名ヲ  
本文ノ通及工  
部卿ヲ遞信大  
臣ト改書ス

ルモノトス

第二十八條 郵便電信局電信局ノ廢置並開局時間ハ遞信大臣  
之ヲ告示スヘシ

第二十九條 電報ヲ依托スル時間ハ開局時間ニ限ルヘシ但至  
急官報ハ此限ニアラス

第三十條 發信人ノ請求アルニ非サレハ電報ノ受取證書ヲ  
交付セス之ヲ請求スルトキハ其手数料ヲ納ムヘシ

第三十一條 官報ハ官廳又ハ官吏ノ印ヲ押捺スヘキモノトス  
但官報タルノ確證アルトキハ此限ニアラス

第三十二條 官報ノ原信ヲ證據トシテ差出ストキハ其返信ヲ  
官報トシテ發送スルコトヲ得

第三十三條 郵便電信局電信局ニ於テ私報ノ發信人タルノ證  
據ヲ要スルトキハ其發信人ハ賴信紙ノ端末ニ署名捺印スヘ

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第三十三  
條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

シ

第三十四條 電報ハ其宛名ノ家又ハ本人ニ之ヲ配達スヘシ但  
受取ルヘキ人名ノ指定アルモノハ此限ニアラス

第三十五條 電報ヲ受取タル者ハ電報受取紙ニ時刻ヲ記入シ  
記名ノ下ニ捺印シ直ニ之ヲ配達人ニ交付スヘシ

第三十六條 宛名ノ家又ハ本人ニ屬セサル電報ノ配達ヲ受取  
タル者ハ其由ヲ附箋シ直ニ之ヲ著信局ニ返付スヘシ

其電報ヲ誤テ開封シタル者ハ更ニ封緘シ其事由ヲ副書スヘ  
シ

第三十七條 郵便電信局電信局ヨリ一里ヲ超ヘサル地ニ配達  
スル電報ハ手数料ヲ要セス但別使配達嶋嶼配達船配達ハ

此限ニアラス

第三十八條 郵便電信局電信局ヨリ一里ヲ超ヘタル地ニ配達

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第三十七  
條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

第三十八條中  
局名ヲ改書ス  
ルコト前ニ同

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第三六號ニ  
條中電信局ヲ  
選信省ト改書  
ス

スル電報ニシテ發信人ヨリ其配達方ヲ指定セサルモノハ先  
拂郵便ヲ以テ遞送スヘシ

第三十九條 郵便ニテ遞送スル電報ハ其郵便稅ヲ納ムヘシ  
別使又ハ舢船ヲ以テ配達スル電報ハ手數料ヲ納メ島嶼ニ配  
達スル電報ハ實費ヲ納ムヘシ

第四十條 受信人ニ配達シ能ハサル電報ハ著信局ニ留置キ本  
人或ハ其委任ヲ受ケタル代人ヨリ請求スルトキハ之ヲ交付  
スヘシ若シ著信ノ日ヨリ六十日以内ニ請求スル者アラサル  
トキハ之ヲ沒書トナスヘシ

第四十一條 未タ傳送セサル電報ハ其發信人タルノ證據ヲ以  
テ返還ヲ請求スルトキハ之ヲ還付スルコトアルヘシ

第四十二條 電報ノ傳送ヨリ生シタル損失又ハ異議アルモ遞  
信省ハ一切其責ニ任セス

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第三六號ニ  
條中電信局ヲ  
選信省ト改書  
ス

## 第六章 尋問改正

第四十三條 受信人電報ノ字句ニ疑惑アリテ尋問ヲ要スルト  
キハ其電報ヲ受取リタル時ヨリ二十四時以内ニ之ヲ請求ス  
ルコトヲ得但其料金ヲ假納スヘシ

郵便電信局電信局ニ於テハ其請求ニ應シ電報ヲ校正シ通信  
上ニ誤謬ナキトキハ假納ノ料金ヲ收入シ若シ誤謬アルトキ  
ハ之ヲ還付スヘシ

第四十四條 發信人電報ノ字句ニ改正ヲ要スルトキハ其電報  
ヲ依托シタル時ヨリ七十二時以内ニ之ヲ請求スルコトヲ得  
但發信人タルノ證據ヲ差出スヘシ

## 第七章 閱覽正寫

第四十五條 發信人又ハ受信人ハ電報發著ノ日ヨリ三十日以  
内ニ本人又ハ其代人タルノ證據ヲ以テ發著局ニアル原信ノ

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第三六號ニ  
條中電信局ヲ  
選信省ト改書  
ス

閱覽ヲ請求スルコトヲ得又其原信ニ相違ナキノ證印アル正  
寫ヲ請求スルコトヲ得其期限ヲ過キタルトキハ更ニ六十日  
以内ニ之ヲ遞信省ニ請求スルコトヲ得此期限ヲ過クルトキ  
ハ一切之ヲ許サス

原信ノ正寫ヲ請求スルトキハ其手數料ヲ納ムヘシ

第八章 電機私設

十九年八月  
告示第七八號  
ニ依リ第四十  
六條中工部卿  
ヲ遞信大臣ト  
改書ス

第四十六條 凡電氣ノ機器ヲ以テ通信傳話及號報ヲナサント  
スル者ハ遞信大臣ニ願出ヘシ

第四十七條 私設ノ電線ハ官設ノ電線アラサル地ニ於テ一人  
又ハ兩人ノ用ニ供スルモノニ限り許可スルモノトス但傳話  
又ハ鐵道ノ用ニ供スルモノハ官設ノ電線アル地ニ於テモ許  
可スルコトアルヘシ

第四十八條 電線私設ノ許可ヲ得タル者ハ遞信省ニ於テ定メ

廿年三月  
告示第三六號ニ  
依リ第四十八  
條中電信局ヲ

遞信省ト改書ス

タル規約ニ從フヘシ

廿年三月  
告示第三六號ニ  
依リ第四十九  
條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

第四十九條 私設ノ電線ハ最寄郵便電信局電信局ニ連續設置  
スヘシ但傳話又ハ鐵道ノ用ニ供スルモノハ此限ニアラス

第五十條 私設ノ電線ハ他人ノ電報ヲ傳送スルコトヲ許サス

第九章 海外電報

第五十一條 海外電報ハ同盟諸國ノ會議ヲ以テ定ムル所ノ萬  
國條約書ニ據リテ取扱フヘシ

第十章 罰則

第五十二條 第七條ヲ犯シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰  
金ニ處ス

第五十三條 第二十二條第二十三條ヲ犯シタル者ハ二圓以上  
五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條 第三十五條第三十六條ヲ犯シタル者ハ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十五條 第四十六條ヲ犯シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其機器ヲ沒收ス

第五十六條 第四十八條第四十九條ヲ犯シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其情狀ニ依リ電線私設ヲ禁止ス

第五十七條 第五十條ヲ犯シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加シ其機器ヲ沒收ス

第五十八條 電線ヲ切斷セスト雖モ電氣ヲ吸引シ易キ物ヲ纏繞シテ不通ニ致シ若クハ其効力ヲ妨害シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五十九條 疎虞懈怠ニ因リ電信ノ器械柱木條線ヲ損壞切斷

シテ電氣ヲ不通ニ致シ或ハ其効力ヲ妨害シタル者ハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

其水底電信線ニ係ルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十條 電信ノ柱木條線ニ紙鳶ヲ懸ケ若クハ瓦礫其他ノ雜物ヲ擲チ又ハ柱木及測量標木ニ獸畜ヲ繫キ若クハ貼紙シ戲書シ又ハ柱木ノ記號及測量標木ヲ毀棄汚穢シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十一條 政府ノ指定シタル水底電信線路内ニ於テ艦船ヲ繫泊シ又ハ漁業採藻ヲ爲シ土砂ヲ掘鑿シ又ハ電信線ノ號標ニ舟筏ヲ繫キ又ハ其號標ヲ毀棄シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

政府ノ指定シタル電信船ノ號標距離内ニ於テ前項ノ所爲ヲ

行ヒ又ハ航行シタル者亦同シ

第六十二條 偽計又ハ威力ヲ以テ電報ノ傳送配達及架線其他ノ工事ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六十三條 己レニ屬セサル電報ヲ開封シ若クハ私用シ或ハ毀棄汚穢抑留隱匿シ若クハ受取人ニ非サル者ニ交付シ及其情ヲ知テ之ヲ收受シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(注意) 電信切手ヲ附シタル者ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六十四條 電信切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六十五條 已ニ貼用シタル電信切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十六條 電信事務ヲ奉スル者前數條ノ罪ヲ犯シタルトキハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

第六十七條 遞信大臣ノ許可ヲ得スシテ通信室ニ入りタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス之レヲ入レタル者ハ一等ヲ加フ

第六十八條 電信事務ヲ奉スル者私報ノ旨意ヲ漏泄シタルトキハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但法律規則ニ從ヒ開披説明スルハ此限ニアラス

第六十九條 官報及局報ノ旨意ヲ漏泄シタル者ハ一等ヲ加フ  
電信事務ヲ奉スル者賴信紙ニ貼用シタル切手ヲ剝取タルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第六十七  
條中電信局長  
ヲ遞信大臣ト  
改書ス

其未タ消印ヲナサ、ル切手ヲ剝取タル者ハ刑法窃盜ノ本條ニ照シテ處斷ス

第七十條 電信事務ヲ奉スル者故ナクシテ通信ノ依托ヲ拒ミタルトキハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十一條 疎虞懈怠ニ因リ電報ヲ遺失シ又ハ傳送配達ヲ延滞シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七十二條 配達人謝儀若クハ不當ノ賃錢ヲ要求シタルトキハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七十三條 第五十八條第六十二條第六十四條第六十五條ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七十四條 第六十四條第六十九條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

# 電信取扱規則

電信取扱規則目次

第一章	電報	一
第二章	電報書法	全
第三章	字數計算	八
第四章	電報料及手數料	十
第五章	電報發送	十二
第六章	至急電報	十三
第七章	追尾電報	十四
第八章	同文電報	十五
第九章	照校電報	十六
第十章	受信電報	十七
第十一章	返信料前納	十七
第十二章	尋問改正	十九

近畿信省

電信取扱規則(明治十八年五月七日太政官布達第七號)

第一章 電報

第一條 官報トハ各官廳ノ公信並締盟國ノ大臣長官陸海軍將帥公使及領事ノ通信ヲ云フ但商人ニシテ領事ヲ兼ヌル者ヨリ發出スル電報ハ在官者ニ宛テ且公務ニ關スルモノニ非サレハ官報ト爲サス

第二條 局報トハ電信事務ニ關シ遞信省郵便電信局電信局相互ニ送受スル通信ヲ云フ

第三條 私報トハ官報局報ヲ除クノ外諸般ノ通信ヲ云フ

第四條 發信人ハ條例第二條ニ記載シタル各類ノ電報ヲ單用シ又ハ併用スルコトヲ得

第五條 至急電報ハ通常電報ヨリ先ニ傳送シ同種類ノ電報ハ發信局ニ於テハ受托ノ前後ニ由リ中繼局ニ於テハ受信ノ順

廿年(三月)告  
示第三六號及  
廿二年(七月)  
勅令第九六號  
ニ依リ第二條  
ノ中局名ヲ本文  
ノ通改書ス



序ニ從テ傳送スルモノトス

第二章 電報書法

第六條 電報ニ用フル文字及數字ハ莫爾斯字號ニ翻書スルコトヲ得ヘキモノニ限ル

第七條 莫爾斯字號左ノ如シ

片假名及數字

ト ヘ ホ ニ ハ ロ イ

Vertical lines representing the Morse code for the characters listed above.

ネ ッ ソ レ タ ヨ カ ワ ナ ル ヌ リ チ

Vertical lines representing the Morse code for the characters listed above.

セ モ ヒ エ シ ミ メ ユ キ サ ア テ エ

コ フ ケ マ ヤ ク オ ノ キ ウ ム ラ ナ

通  
信  
簿

二  
信  
簿

廿六年(六月)  
省令第一〇號  
ヲ以テ半濁點  
ノ次ニ長音ノ  
一項ヲ追加

ス  
ン  
濁點  
半濁點  
一長音  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八

Vertical dashed lines for handwriting practice, corresponding to the characters above.

通  
信  
省

九  
零〇  
歸除線  
羅馬文字及亞刺比亞數字

a  
ä  
á 又ハ  
a  
b  
c  
d  
e  
é  
f

Vertical dashed lines for handwriting practice, corresponding to the characters above.

四  
一  
電  
報  
省

3 2 1 z y x w v ū u t s r

Vertical dashed lines for handwriting practice, corresponding to the letters above.

五  
邊  
音  
音

q p ö o n̄ n m l k j i h g

Vertical dashed lines for handwriting practice, corresponding to the letters above.

邊  
音  
音

廿六年(六月)  
省令第一〇號  
ヲ以テ新章ノ  
記號追加

和文句讀點及記號

4	5	6	7	8	9	0	歸除線 /	句讀點 .	新章 「	括弧 ( )	小括弧 「」
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

歐文句讀點及記號

終點 .	讀 ,	小讀 ;	重點 :	問標 ?	感符 !	略符 ,	新章	連續點 —	括弧 ( )	轉倒句讀 “ ”	字下線 —
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

略符號

至急 <small>官報</small>	ウナ	UR
追尾電報	チラ	FS
改追尾電報	ナチ	RF
同文電報	ヨム	MT
照校電報	ムニ	TC
受信電報	ニナ	CR
返信料前納電報	ナツ	RP
局待	ヤム	WT
親展	ニカ	CL
郵便配達	ツツ	PP
書留郵便配達	カナ	LR
別使配達	マツ	XP

解船配達

ハホ

BD

第八條 普通辭トハ和文ハ片假名歐文ハ羅匈語又ハ常ニ通用スル歐洲國語ニシテ其意味ノ通解シ易キモノヲ云フ但電報新書及電報新編ニ依リ語辭ニ代用スル數字ヲ以テ書シタル電報ハ普通辭ト看做スヘシ

第九條 秘辭トハ普通辭ニ非ス文字又ハ數字ノ孤立或ハ聯集シテ其意味ノ通解シ難キモノヲ云フ

第十條 隱語トハ每語ニハ通スヘキ意味アルモ作文全體ニ於テ通解シ難キモノヲ云フ

第十一條 削除

第十二條 削除

第十三條 電報ニハ文字ト數字トヲ混用スルコトヲ得但歐文ノ秘辭ニハ一聯集中文字ト數字トヲ混用スヘカラス

廿六年(六月)省令第一〇號ヲ以テ第十一條及第十二條削除

廿六年(六月)省令第一〇號ヲ以テ第十三條第十四條及第十五條本文ノ改正

第十四條 小括弧ハ第十五條ノ場合ヲ除クノ外之ヲ用フルヲ得ス

第十五條 和文ニハ商標又ハ記號等片假名ヲ以テ顯明シ難キモノニ限リ歐字又ハ亞刺比亞數字ヲ挿入スルコトヲ得但小括弧ヲ以テ之ヲ區別スヘシ

第十六條 受信人ノ住所氏名ハ著信地ニ於テ配達シ易キ爲メ詳ニ之ヲ肩書スヘシ若シ町村名等他ニ類似ノ地名アルモノハ府縣名又ハ國名及郡區名ヲ記スヘシ但詳明ヲ要スルモ贅語ヲ用フヘカラス

第十七條 宛名ノ不十分ヨリ起リタル損失ハ總テ發信人ノ負擔タルヘシ

第十八條 受信人ノ住所氏名ハ豫メ郵便電信局又ハ電信局ト約定シテ略號ヲ常用スルコトヲ得但歐文電報ニ略號ヲ常用

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第三八條  
中局名ヲ本文  
ノ通改書及廿  
三年(二月)省  
令第二號ヲ以

テ第十八條ニ  
加本文ノ但書追

スルトキハ略號常用料ヲ納ムヘシ其金額及納付手續ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 第七條ニ記載シタル畧符號ハ賴信紙中受信人ノ名下ニ記スヘシ若シ普通ノ文字ヲ以テ記シタルトキハ發信局ニ於テ之ヲ略符號ニ改書スルモノトス

第二十條 發信人ノ賴信紙中ニ記シタル略符號判然タラサルモノハ都テ通常電報ト爲シテ取扱フヘシ

### 第三章 字數計算

第二十一條 和文電報ノ住所氏名ハ字數ニ算入セス歐文電報ノ住所氏名ハ語數ニ算入ス

第二十二條 和文中濁點半濁點ヲ附シタル文字及和文中ニ用ヒタル括弧小括弧ハ之ヲ片假名二字ニ計算スヘシ

第二十三條 和文中ニ用ヒタル長音數字歸除線句讀點新章及

廿六年(六月)  
省令第一〇號  
ヲ以テ第二十  
二條及第二十  
三條本文ノ通  
改正

二十六年(六月)省令第一〇號ヲ以テ第二十四條削除  
 二十年(六月)省令第二十五號ヲ以テ第二十五條本文ノ通改正

第十五條ニ記載シタル歐字又ハ亞刺比亞數字ハ其一字又ハ一個ヲ片假名一字ニ計算スヘシ

第二十四條 削除

第二十五條 歐文ハ一語ノ聯綴十字ヲ超ヘサルモノハ之ヲ一語ニ計算シ十字ヲ超ヘタルモノハ又之ヲ一語ニ計算スヘシ  
 第二十六條 歐文中文字又ハ數字ノ孤立シタルモノハ之ヲ一語ニ計算スヘシ

第二十七條 歐文中聯記シタル數字五個ヲ超ヘサルモノハ之ヲ一語ニ計算シ五個ヲ超ヘタルモノハ又之ヲ一語ニ計算スヘシ

第二十八條 歐文中順序數ヲ作ル爲メ數字ニ加ヘタル文字ハ之ヲ數字一個ニ計算スヘシ

例

17<sup>th</sup>

一語 數字文字合セテ四個

1778<sup>th</sup>

二語 全 六個

第二十九條 歐文數字中ニ用ヒタル分數點讀點及歸除線ハ一個ヲ一字ニ計算スヘシ

例

44.55

一語 數字分數點合セテ五個

44,560

二語 數字讀點合セテ六個

510<sup>1</sup>/<sub>2</sub>

二語 數字歸除線合セテ六個

第三十條 歐文中ニ記入シタル句讀諸點連續點畧符新章ハ之ヲ語數ニ計算セス但此記號ハ必シモ傳送スルヲ要セス  
 第三十一條 歐文中連續點ヲ以テ繋キタル辭及畧符ヲ以テ分チタル辭ハ其分辭毎ニ一語ニ計算スヘシ

例



Weston-super-mare

三語

New-york

二語

I've

二語

第三十二條 歐文中字下線ヲ每語ニ引キ又ハ二語以上ニ繋ケテ引クトキハ一個ヲ一語ニ計算スヘシ

例

*The matter is urgent;*

七語并字下線二  
個合セテ九語

*leave at once*

第三十三條 歐文中ニ用ヒタル括弧轉倒句讀ハ之ヲ一語ニ計算スヘシ

第三十四條 歐文普通辭中秘辭ノ雜リタルモノハ其普通辭ハ通常ノ例ヲ以テ之ヲ計算シ數字又ハ文字ノ聯集シタルモノハ數字ノ例ニ依テ之ヲ計算シ第八條ニ記載シタル國語ニ非

サル語辭ハ文字ノ聯集ト看做シテ之ヲ計算スヘシ

第三十五條 歐文中國語ノ用法ニ反シテ語辭ノ聯綴シタルモノ若クハ省畧シタルモノハ普通辭ノ例ヲ以テ計算スルコトヲ得ス然レモ府縣名地名其他官位氏名等及文字ニテ記載シタル數目ハ發信人ニテ之ヲ顯明ニスル爲メ用ヒタル語數ニテ計算スヘシ

第三十六條 第七條ニ記載シタル略符號ハ和文ハ二字歐文ハ一語ニ計算スヘシ

#### 第四章 電報料及手數料

第三十七條 國內一市内ヲ除ク通スル電報料左ノ如シ

一和文 片假名十字以内 一音信金拾五錢

十字以内ヲ加フル毎ニ金拾錢ヲ増ス

一歐文 五語以内住所氏名共 金貳拾五錢

廿年(六月)省令第三號廿三年(三月)省令第四號及廿四年(四月)省令第三十七號ヲ以テ本文ノ通改正

廿年(六月)省  
令第三十八號ヲ以  
テ第三十八條  
中本文ノ違改  
正

一語ヲ加フル毎ニ金五錢ヲ増ス

第三十八條 一市内ニ發著スル電報料左ノ如シ

一和文 片假名十字以内 一音信金五錢

十字以内ヲ加フル毎ニ金三錢ヲ増ス

一歐文 五語以内住所氏名共 金拾錢

一語ヲ加フル毎ニ金貳錢ヲ増ス

第三十九條 至急官報ノ電報料ハ通常電報料ノ二倍トス

第四十條 至急私報ノ電報料ハ通常電報料ノ三倍トス

第四十一條 追尾電報料ハ追尾一回毎ニ原信電報料ノ半額ヲ

増ス

第四十二條 同文電報料ハ原信ヲ除クノ外一通毎ニ和文ハ金

五錢歐文ハ金拾五錢トス

第四十三條 照校電報料ハ原信電報料ノ半額ヲ増ス

廿三年(三月)  
省令第二號ヲ  
以テ第四十六  
條削除

第四十四條 受信電報料ハ和文ハ一音信歐文ハ五語ノ料金ヲ

増ス

第四十五條 電報料ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキ其端數

ハ切捨ルモノトス

第四十六條 削除

第四十七條 條例第三十條ノ電報受取證書ノ手數料ハ金三錢

トス

第四十八條 條例第三十九條ノ別使配達料ハ九丁毎ニ金三錢

トス

第四十九條 條例第三十九條ノ解船配達料ハ金貳拾錢トス

第五十條 條例第四十五條ノ原信正寫ノ手數料ハ和文百字以

内毎ニ金貳錢歐文百語以内毎ニ金拾錢トス

第五十一條 料金ノ還付ヲ請求スルトキハ不達ニ係ルモノハ

廿年(三月)省  
令第三十六號ニ  
依リ第五十一

條中電信局長  
ヲ通信省ト改  
書ス

廿三年(三月)  
省令第五十三  
號ヲ以テ第五  
十五號ヲ改  
正本文ノ通改

廿三年(三月)  
省令第五十五  
號ヲ以テ第五  
十五號ヲ改  
正本文ノ通改  
廿三年(三月)  
省令第五十六  
號ヲ以テ第五  
十六號ヲ改  
正本文ノ通改  
廿三年(三月)  
省令第五十七  
號ヲ以テ第五  
十七號ヲ改  
正本文ノ通改

五十六條ニ本  
文ノ但テ追加

廿三年(三月)告  
示第三十六號ニ  
依リ第五十八  
條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

廿三年(三月)告  
示第三十六號及  
廿一年(二月)  
勅令第六號ノ  
旨趣ニヨリ第  
六十條ヲ本文  
ノ通改書ス

著信局又ハ受信人ノ書面ヲ添へ誤謬遅延ニ係ルモノハ受信人ニ到達シタル電報ノ原書ヲ添へ發信人ヨリ遞信省ニ申立ヘシ但時宜ニ依リ受信人ヨリ申立ルコトヲ得

第五十二條 電報遅延ノ申出ハ郵便ニテ遞送スル時日ヨリモ後レテ届先ニ達シタルモノニ限ルヘシ

第五十三條 電報料手数料ヲ還付スルトキハ都テ郵便切手ヲ以テスヘシ

第五十四條 同文電報ノ内若干通ノ料金ヲ還付スルトキハ原信ノ料金及通數ニ因テ收入シタル料金ヲ併セ之ヲ總通數ニテ除算シ其得數ヲ以テ還付スヘキ一通ノ額トスヘシ

第五十五條 削除

第五十六條 追徵電報料及手数料ハ之ニ相當スル郵便切手ヲ貼付シタル追徵證書ヲ發スルニ依リ發信人又ハ受信人ニ於

テ其金額ヲ追納スヘシ但鐵道所屬電信取扱所ニ於テ追徵スルトキハ追徵證書ニ郵便切手ヲ貼付セス

第五章 電報發送

第五十七條 發信人ハ電報一通ニ三名マテ連署スルコトヲ得

第五十八條 受信人ノ便利ヲ圖リ電報ヲ郵便電信局電信局ニ預ケ置カントスルトキハ其局宛トナスモ妨ケナシ

第五十九條 電報ノ受取證書ニハ其手数料ニ當ル郵便切手ヲ貼付シ且消印シテ交付スヘシ

第六十條 郵便ニテ電報ヲ發出スルトキハ其近傍ノ郵便電信局電信局へ宛テ之ヲ差出スヘシ

第六十一條 郵便ニテ發出シタル電報ニテ閉局後ニ受取リタルモノハ翌日開局ノ時傳送ノ手續ヲナスモノトス

第六十二條 發信人速ニ返信ヲ望ミ發信局ニ在テ之ヲ待ツト

キハ局待ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十三條 發信人電報ノ受信家へ到達スル時他人ノ披見スルコトヲ憚ルトキハ親展ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十四條 別使ヲ以テ配達スヘキ電報ハ別使配達ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十五條 別使ヲ以テ配達スヘキ電報ニシテ發信局ニ於テ里程分明ナラサルトキハ發信人ニ豫算ノ金額ヲ納メシメ著信局ニ於テ實地ノ調査ヲナシ過剩アラハ發信人ニ還付シ不足アラハ受信人ヨリ徴收スヘシ

第六十六條 郵便ヲ以テ遞送スヘキ電報ハ郵便又ハ書留郵便ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ但別配達郵便ハ之ヲ取扱ハス

第六十七條 艦船宛ノ電報ニシテ舢船ヲ以テ配達スヘキモノハ舢船配達ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十八條 艦船宛ノ電報ニシテ別使ヲ以テ配達スヘキモノハ舢船配達并別使配達ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十九條 艦船宛ノ電報ニシテ舢船配達ノ指定ナク實際舢船ヲ要スルトキハ其舢船料ヲ受信人ヨリ徴收スヘシ

第七十條 島嶼配達ノ電報ハ著信局ヨリ一里内外ニ拘ハラズ別使又ハ郵便ヲ用フヘキニ依リ何レカ其略符號ヲ以テ指定スヘシ但其記入ナキモノハ先拂郵便ヲ以テ遞送スヘシ

第七十一條 島嶼ノ別使配達料ハ水陸トモ實費ヲ徴收スヘキニ依リ發信人ヨリ豫算ノ金額ヲ發信局へ納ムヘシ其過不足ハ第六十五條ニ依リ處分スヘシ

第七十二條 電報ハ著信局ニ於テ受信シタル順序ニ依リ配達スヘシ

第七十三條 電報ハ送達紙ニ記シテ配達スヘシ

ヲ以テ第七十  
三條ニ第二項  
追加

受信人名ヲ連署シタル電報ハ一通ノ送達紙ニ記載シ其内ノ  
一名ニ配達スヘシ

第七十四條 受信人ニ配達スル送達紙ニハ無手数料ニテ其發  
信局名及依托ノ月日時分ヲ記スルモノトス

第七十五條 送達紙ニ記載シタル宛名ノ者他所へ移轉シ其居  
所分明ナルモノ一里ヲ超ヘサルトキハ別ニ手数料ヲ要セス  
シテ配達スヘシ一里ヲ超ユルトキハ郵便ヲ以テ遞送スヘシ

第七十六條 條例第三十四條ニ依リ受信人豫テ電報ヲ受取ル  
ヘキ人名ヲ指定スルトキハ其旨書面ヲ以テ申出置クヘシ

第七十七條 郵便電信局電信局ニ預リ置キ及留置ク電報ハ其  
發信人及受信人ノ住所氏名ヲ詳記シテ七日ヨリ少ナカラサ  
ル間其局前ニ揭示スヘシ

### 第六章 至急電報

廿年(三月)告  
示第三六號ニ  
依リ第七十七  
條中局名ヲ本  
條ノ通改書ス

第七十八條 官報私報ヲ問ハス通常電報ニ先チテ傳送ヲ要ス  
ルモノハ至急電報ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ

第七十九條 至急電報ニシテ返信料ヲ前納シ其返信モ至急電  
報ト爲ストキハ至急電報ノ畧符號ノ次ニ「ヘンシンシキウ」ト  
記スヘシ

### 第七章 追尾電報

第八十條 發信人豫メ受信人ノ轉居又ハ旅行等ヲ知リテ電報  
ヲ追送セントスルトキハ追尾電報ノ略符號ヲ以テ指定スヘ  
シ

第八十一條 追尾電報ノ第一著局以外ノ料金ハ受信人ヨリ徵  
收スヘシ但一市内ニテ追送スルモノハ料金ヲ要セス

第八十二條 追尾電報ノ賴信紙ニハ追尾スヘキ受信人ノ居所  
ヲ逐次ニ記スヘシ

第八十三條 追尾電報ノ略符號アルモ追尾スヘキ居所ヲ逐次ニ記セサルモノニシテ若シ受信人不在ノトキ更ニ追尾スヘキ居所ヲ知ルコトヲ得タルトキハ直ニ之ヲ追送スヘシ若シ追送スヘキ居所不分明ナルカ又ハ之ヲ追送スルモ受信人ヲ尋得サルトキハ電報ヲ留置クヘシ

第八十四條 追尾電報ノ略符號アリテ且追尾スヘキ居所ヲ逐次ニ記シタルモノハ受信人ニ達スルマテ逐局之ヲ傳送シ若シ受信人ヲ尋得サルトキハ其終尾ノ局ニ於テ前條ニ依テ之ヲ取扱フヘシ但追尾電報ノ本文ハ固ヨリ一字モ省畧セス逐局之ヲ傳送ス然レトモ逐書シタル居所ハ其當サニ送ルヘキモノ、ミヲ存シ己ニ經過セシモノハ之ヲ削除スヘシ

第八十五條 追尾ノ指定ナキ電報ニテモ受信家ノ者ヨリ之ヲ追尾電報ト爲ストキハ更ニ改追尾電報ノ畧符號ヲ以テ指定シ之ヲ逐局傳送スルコトヲ得

第八十六條 追尾電報ニシテ其返信料ヲ前納スルトキハ追尾電報ノ畧符號ノ次ニ返信料前納ノ畧符號ヲ記シ第一著局マテノ返信料ヲ前納スヘシ

第八十七條 返信料ヲ前納シタル電報ヲ更ニ追尾電報ト爲ストキハ返信料前納ノ畧符號ノ次ニ改追尾電報ノ畧符號ヲ記スヘシ其著信局ニ於テハ第一著局マテノ返信料ヲ受信人ニ交付ス

第八十八條 何人ニテモ電報ノ配達ヲ受ル所ノ郵便電信局電信局へ移轉等ノ事由ヲ書面ニテ申出置キ其電報ノ到着次第追尾電報ノ規則ニ依リ再送ヲ受ント請求スルコトヲ得此電報ハ著信局ニ於テ更ニ改追尾電報ノ畧符號ヲ以テ指定シ移轉ノ居所所在ノ著信局へ追送スヘシ

廿年三月廿八日  
附第三六號ニ  
依リ第八十八  
條中局名ヲ本  
文ノ通改書ス

第八十九條 追尾電報ヲ著信局ヨリ一里ヲ超ヘタル地ニ遞送スルトキハ前拂郵便ヲ用ヒ其郵便稅額ハ追徵證書ニ合記シ之ヲ追徵スヘシ

第九十條 受信人ニ配達スル追尾電報ノ送達紙ニハ第一發信局ノ局名月日時分ヲ記スルモノトス

第九十一條 追尾電報ヲ傳送シタル後受信人ノ所在不分明ニテ配達シ得サルトキ又ハ受信人ヨリ追尾料金ヲ出スコトヲ拒ムトキハ其追尾依托人ニ事實ヲ報シテ其料金ヲ追徵スヘシ

#### 第八章 同文電報

第九十二條 發信人ヨリ同時ニ同文ノ電報ヲ一市内又ハ一市内ニ非サルモ著信局ヲ同クスル地方ニ住シテ居所ヲ異ニスル數名ハ差出サントスルトキハ同文電報ノ畧符號ヲ以テ指

定スヘシ

第九十三條 同文電報ノ賴信紙ニハ初筆ノ受信人ノ名下ニ畧符號ト受信人ノ員數ヲ記スヘシ

第九十四條 同文電報ハ原信一通ニ定則ノ電報料ヲ課シ其餘ハ一通毎ニ同文電報料ヲ課スルモノトス

第九十五條 照校電報ヲ同文電報ト爲ストキハ同文電報ノ畧符號ノ次ニ照校電報ノ畧符號ヲ記スヘシ其電報ハ原信一通ニ照校電報料ヲ課シ其餘ハ同文電報料ノミヲ課スルモノトス

第九十六條 受信電報ヲ同文電報ト爲ストキハ同文電報ノ畧符號ノ次ニ受信電報ノ畧符號ヲ記シ同文電報料ノ外其通數ニ應シ受信電報料ヲ納ムヘシ

第九十七條 同文電報ハ發信人ニ於テ送達紙各通ニ受信人ノ

連名ヲ記スルコトヲ請求セサルトキハ一通毎ニ一名ノミヲ記スルモノトス故ニ之ヲ請求スル者ハ同文電報ノ略符號ノ次ニ「レンメイ」ト記スヘシ

第九十八條 住居ヲ同クスル者ニ宛タル電報ニテモ同文電報ト爲スニ非サレハ電報一通ニ三名ヲ超ヘタル連名ヲ記スルコトヲ得ス

第九十九條 同文電報ヲ送達スルニ或ハ郵便ヲ以テシ或ハ別使ヲ以テスル等各配達ノ方法ヲ異ニスルモノハ受信人ノ名下ニ一々郵便配達若クハ別使配達ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ

第九章 照校電報

第一百條 發信人ニ於テ電報中字句ノ誤謬ヲ豫防セントスルトキハ照校電報ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第一百一條 照校電報ハ各局傳送ノ際全文ヲ校正スルモノトス  
第一百二條 返信料ヲ前納シタル照校電報ニテ其返信モ亦照校電報ト爲ストキハ照校電報ノ略符號ノ次ニ「ヘンシン」セウカウ」ト記スヘシ

第十章 受信電報

第一百三條 發信人電報ノ正ニ受信人ニ到達セシヤ否ヤノ報知ヲ受ケントスルトキハ受信電報ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ  
第一百四條 受信報知ヲ要スル電報ノ發信人ニハ受信人ノ電報ヲ受取リタル時刻ヲ報知スヘシ

第一百五條 受信電報ハ其原信ノ種類ニ依テ之ヲ傳送スヘシ

第一百六條 受信報知ヲ要スル電報ヲ受信人ニ配達スル能ハサルトキハ著信局ニ於テ先ツ發信局ニ其旨ノ局報ヲ送ルヘシ然ル後電報ヲ配達スルコトヲ得タルトキハ直ニ受信電報ヲ



送ルハシ若シ局報ヲ送リタル後二十四時ヲ過クルモ尙配達スル能ハサルトキハ更ニ其事由ヲ確報スヘシ

第七七條 受信報知ヲ要スル電報ニシテ其著信局ヨリ受信人ヘ別使又ハ郵便ヲ以テ配達スヘキモノハ受信電報ノ畧符號ノ次ニ別使配達若クハ書留郵便配達ノ畧符號ヲ記スヘシ其郵便ヲ以テ配達スヘキモノハ郵便局ヘ付托セシ時刻ヲ答報ス

第八八條 發信人配達區外ニ居住スルニ依リ別使又ハ郵便ヲ以テ受信電報ノ配達ヲ得ントスルトキハ賴信紙ノ端末ニ別使又ハ「郵便」ト記シ其別使料又ハ郵便稅ヲ前納スヘシ

第十一章 返信料前納

第九九條 發信人ニ於テ受信人ヨリ納ムヘキ電報料ヲ前納シテ返信ヲ受ケントスルトキハ返信料前納電報ノ畧符號ヲ以

テ指定スヘシ

第一百條 一音信又ハ五語ヲ超ヘテ返信料ヲ前納スルトキハ返信料前納ノ畧符號ノ次ニ其字數又ハ語數ヲ記スヘシ

例

和文 (ナツ二〇)

歐文 (RP 6) 又ハ (RP 10)

第一百一條 郵便ニテ返信料前納電報ノ送達ヲ要スルトキハ尙書留郵便ノ畧符號ヲ以テ指定スヘシ

第一百十二條 返信料前納電報ヲ配達スルトキハ返信料前納アルコトヲ證明スル爲メ著信局ニ於テ返信用紙ニ左ノ事項ヲ記入シ返信料前納證書トシテ電報ト共ニ之ヲ受信人ニ交付スヘシ

一返信料前納ノ金額及之ニ對スル字數  
歐文ハ語數

廿四年(七月)省令第九號ヲ以テ第九十一條乃至第一百六條本文ノ通改正

一 受信人名

一 發信局名發信年月日及發信番號

一 本書發行ノ年月日

第百十三條 返信料前納電報ノ返信ハ何レノ郵便電信局電信局ヨリ發送スルヲ問ハス返信料前納ヲ證明シタル返信用紙ニ記載シテ差出スヘシ

其返信電報ノ料金ニシテ證書記載ノ金額ニ超過スルトキハ其超過額ニ相當スル郵便切手ヲ貼付スヘシ

第百十四條 返信料前納證書使用ノ期限ハ發行ノ日ヨリ六十日以内トス此期限ヲ過クルトキハ使用ノ効ヲ失フ

第百十五條 返信電報ノ料金前納額ニ滿タサルトキハ前納シタル日ヨリ百二十日以内ニ返信料前納電報ノ發信人ヨリ返信電報ヲ添ヘ其殘額ノ還付ヲ遞信省ニ請求スルコトヲ得

返信料前納證書不用ニ屬スルトキハ證書發行ノ日ヨリ百二十日以内ニ返信料前納電報ノ發信人ヨリ其證書ヲ添ヘ返信料ノ還付ヲ遞信省ニ請求スルコトヲ得

第百十六條 受信人返信料前納證書ヲ受領スルコトヲ拒ムトキハ其事由ヲ發信人ニ報知スル爲メ著信局ヨリ電報ヲ以テ其旨發信局ニ報知シ此報知電報ハ返信ノ代ト見做スヘシ但和文一音信分歐文五語分ヲ超過シテ返信料ヲ前納シタルモノハ發信人ヨリ其超過額ノ還付ヲ遞信省ニ請求スルコトヲ得其請求期限ハ第百十五條ニ同シ

居所不明其他ノ事故ニ依リ返信料前納證書ヲ受信人ニ交付スルコト能ハサルトキハ七日間著信局前ニ其旨ヲ揭示シ此期限内ニ尙交付スルコト能ハサルトキハ前項ノ例ニ依テ處分スヘシ

第十二章 尋問改正

第一百十七條 條例第四十三條第四十四條ニ依リ既送現送ノ電報ニ關シ發信人又ハ受信人ノ依頼ニ依リ傳送スル電報ハ其種類ニ依リ取扱フモ之ヲ往復スルニハ局名ヲ以テスルモノトス

第十三章 原信正寫

第一百十八條 原信ノ正寫ニハ其手數料ニ當ル郵便切手ヲ貼付シ且消印シテ交付スヘシ

明治廿六年八月八日印刷

明治廿六年八月十五日發行

遞 信 省 電 務 局

印刷人

上 柳 熊 五 郎

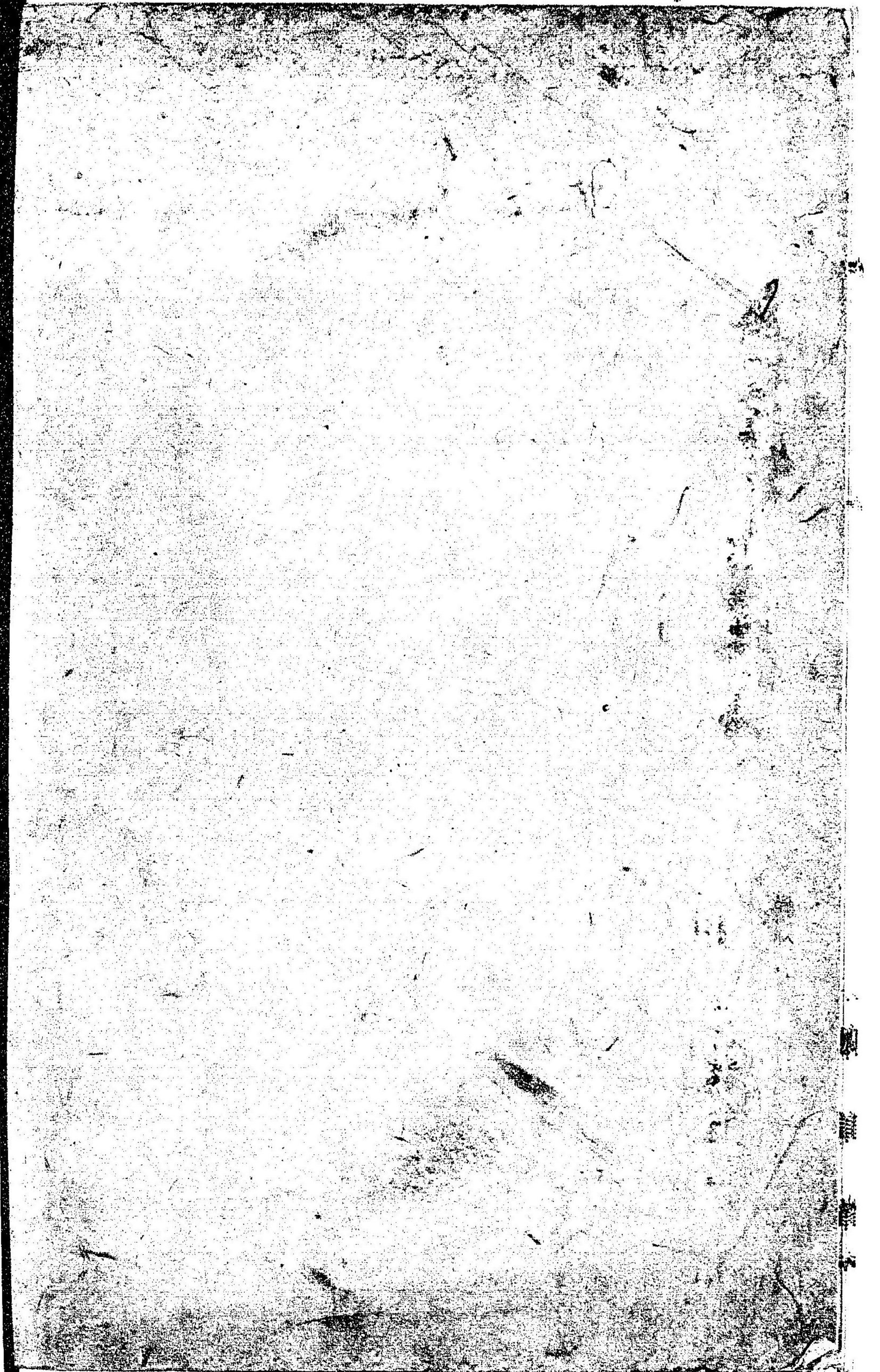
東京市日本橋區蠣壳町三丁目十二番地

印刷所

國 文 社

東京市京橋區宗十郎町十五番地

遊 錄 卷 一



CZ  
493  
012



下

明治廿六年七月訂正  
電信條例  
電信取扱規則  
纂輯

遞  
信  
省

038155-000-3

CZ-493-012

電信條例・電信取扱規則纂輯 明治廿六年七月訂正

逋信省電務局

M26

BBY-0257

